

事務事業名		神坂地内排水路整備事業		☒ 実施計画掲載事業 ☐ 合併建設計画掲載事業																										
政策体系	政策名	011 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間																										
	施策名	012 良好な生活空間の創造		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～)																										
	基本事業名	011 生活道路の整備		☒ 期間限定複数年度 【計画期間】平成26 年度 ～ 平成28 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																										
	根拠法令			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 02 03 66																										
所属	部課名	都市整備部建設課																												
	課長名	菅原博幸																												
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111																										
	担当者	高橋史子	内線	319																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 防災集団移転促進事業(神坂地区)の実施にあたり、団地に接続する市道熊野神社線には側溝がなく、排水の流末処理ができない状況にあることから、宅地造成部に接する排水路を新設することにより、移転地区の居住性・利便性の向上を図り、被災者の生活再建や安全で快適な生活環境を整備するものである。																														
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>49,193</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>14,985</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>64,178</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>2,880</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>67,058</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	0	都道府県支出金		地方債	0	その他	49,193	一般財源	14,985	事業費計(A)		64,178	人件費	正規職員従事人数	7	延べ業務時間	720	人件費計(B)	2,880	トータルコスト(A)+(B)		67,058
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	0																											
		都道府県支出金																												
		地方債	0																											
		その他	49,193																											
		一般財源	14,985																											
	事業費計(A)		64,178																											
	人件費	正規職員従事人数	7																											
		延べ業務時間	720																											
		人件費計(B)	2,880																											
		トータルコスト(A)+(B)		67,058																										
【計画期間】 ・測量調査設計(一式) 平成26年度 (平成27年度へ繰越) ・測量調査設計(一式)、用地買収 平成27年度 ・工事施工(L=450m) 平成27年度 (平成28年度へ繰越) 本事業の完了は、平成28年度の予定である。 事業費は、委託料、土地購入費、工事費、事務費として支出される。																														

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 測量調査設計(一式)・・・平成26年度より繰越 用地買収、工事施工(L=450m) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 工事施工(L=450m)・・・平成27年度より繰越	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 用地買収面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>イ 施工延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 用地買収面積	m ²	イ 施工延長	m	ウ	
名称	単位								
ア 用地買収面積	m ²								
イ 施工延長	m								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市道熊野神社線、市道神坂6号線、防災集団移転団地(神坂地区) 排水路周辺地域住民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 計画総延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>キ 主たる利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 計画総延長	m	キ 主たる利用者数	人	ク	
名称	単位								
カ 計画総延長	m								
キ 主たる利用者数	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 排水路および市道側溝が新設・改良される。 安全で快適な生活環境を得る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 十分な断面(容量)で整備された排水路延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 十分な断面(容量)で整備された排水路延長	m	シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%	ス	
名称	単位								
サ 十分な断面(容量)で整備された排水路延長	m								
シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全で快適に生活できる。									

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円			0			
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円			0			
			その他	千 円					34,880	14,313
			一般財源	千 円					9,758	5,227
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	44,638	19,540
	人件費	正規職員従事人数	人				2	3	2	
		延べ業務時間	時 間				160	480	80	
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	640	1,920	320	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	0	640	46,558	19,860	
⑤活動指標		ア	m ²				0	216	0	
		イ	m				0	444	444	
		ウ								
⑥対象指標		カ	m				450	444	444	
		キ	人				76	79	79	
		ク								
⑦成果指標		サ	m				0	0	444	
		シ	%				0	0	100	
		ス								

事務事業ID	1651	事務事業名	神坂地内排水路整備事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 防災集団移転促進事業（神坂地区）の実施にあたり、団地に接続する市道熊野神社線には側溝がなく、排水の流末処理ができない状況にあることから、宅地造成部に接する排水路を新設するため。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 排水路が無いため、降雨時の土砂流出が発生するため、かねてより地域要望があったことから当初より協力的である。
 流末は細浦漁港復旧計画とのすり合わせが必要である。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 早期完成を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 改良（一部新設）整備により、安全・快適に利用できるので、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ この市道は、未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない（年度ごとの実績はあるが、全区間の整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない）。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 安全で快適に利用できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1651	事務事業名	神坂地内排水路整備事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 他事業計画との調整に日数を要したため、下記事業について平成27年度に繰越をした。 事業内容:測量調査設計(1式)																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 平成27年度事業完了に向け、事業を推進する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																	

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	建設課長 菅原博幸

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																																	
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 測量調査設計が繰越となったが、適切な事務執行が行われている。																				
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 平成27年度事業完了に向け、事業を推進する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
